

課長級管理職錬成講座

開設趣旨書
講座概要
実施要領

(株) 日 本 経 営 開 発 研 究 所

〒105-0022

東京都港区海岸1-2-20汐留ビルディング3階

電 話 東京（03）6721-8607番（代表）

FAX 東京（03）6735-4607番

H P <http://www.nihon-keieikaihatsu.co.jp>

e-mail info@nihon-keieikaihatsu.co.jp



*より詳細な問合せは上記に

課長級管理職錬成講座開設趣旨

(株)日本経営開発研究所

世界経済は、共産主義体制の崩壊により「自由主義経済下での世界的大競争時代」に突入しました。近年になって、反グローバリズムといった保護主義的な動きも出現しているものの、21世紀の世界経済の基調は変わらないでしょう。このような世界的大競争時代において、日本企業が存続発展していくためには、世界一の高能力・高生産性の経営を実現することが死活の課題となってきました。

時代の激動に対応しうる革新的にしてかつ高能率の経営を実現しうるためには、トップの意を体し、第一線従業員に適切な指揮をとりうる管理者の高い意欲と能力が決定的な要件であります。これからの時代に即応しうる高度な資質をもった管理者の育成は従来にもまして経営の大きなカギになってきました。

そもそも日本の管理者には、欧米の管理者のごとく「分業と協業の結節点にあつて管理を主職務とする者」という規定だけでは尽くせないものがあります。すなわち、日本の管理者は、終身雇用なるが故の「経営陣の後継者にして補佐役」たる位置づけを課されているのであります。故に、日本の管理者は、自らの分業単位を全うできるだけの専門知識技能、管理者としての管理知識・技能に留まらず、終身雇用基幹社員の中核たるにふさわしい識見と徳性・行動力、更にはトップを補佐しうるに足る経営能力が求められる所になります。このような本格的な管理者育成のためには、管理ノウハウ中心の促成教育だけでは全く不十分なことは明白であります。

「課長級管理職錬成講座」は、このような認識の下に、集中的な合宿研修により、

1. 日本の経営における管理者の位置づけと管理者のもつべき要件を自覚し、
2. かつ、そのような要件を体得するための努力方法・課題をつかみ、
3. 更に、そのような努力課題に立ち向かう心構えと意欲を形成すること、

をめざすものであります。

本講座の趣旨を御検討の上、貴社からもこれからを期待される管理者を計画的に御派遣いただき、錬成の実をあげ、貴社の戦闘力強化にお役に立てれば幸いです。

(注) 管理者を対象とする特別錬成講座は、「一流管理職錬成講座」(前・後期各一週間・合計二週間コース)として1977年にスタート致しましたが、各社の管理者の育成計画へのマッチ・参加の便宜性を考慮し、1987年より前期分を「初級管理者錬成講座」、後期分を「一流管理職錬成講座」として分離・別建てとしました(1999年迄に「初級管理者錬成講座」を13回、「一流管理職錬成講座」を通算23回開催)。

2000年度より従来の「初級管理者錬成講座」に該当する講座を「課長級管理職錬成講座」として再設定し、対象をより明確にするとともに講座のプログラムも再編成致しました。(併せて、将来を期待される部長級以上の職位者を対象に、従来の「一流管理職錬成講座」並びに「次世代経営幹部錬成講座」を併合・再編成した「次世代経営者錬成講座」を設定することと致しました)。

本趣旨は、「初級管理者錬成講座」開設趣旨に加筆修正したものです。

2016年(平成28年)11月

課長級錬成講座 基本プログラム

合宿研修前 約 1 ヶ月間	<u>事前宿題</u> 課題図書「企業および企業人」精読・MDP 事前検討・各種アセスメント・自分史作成 ※MDP : Management Development Program の略、弊社が開発したケース教育方式
------------------	--

	午 前	午 後	夜
第 1 日 (日)	昼 集 合	<u>オリエンテーション講義</u> 「管理者の位置と役割・ これからの管理者のあり方」 <u>講義・MDP</u> 「これからの企業環境、 これからの世界・日本」①	<u>グループ</u> <u>ディスカッション</u> 「これからの日本の 経営のあり方」
第 2 日 (月)	<u>グループ</u> <u>ディスカッション全体討議</u> 発表・質疑・コメント <u>講義・MDP</u> 「これからの企業環境、 これからの世界・日本」②	<u>講義・MDP</u> 「管理概論①」 (組織原則・仕事の管理) 「管理概論②」 (仕事の改善・会議指導法)	<u>小グループ討議</u> MDP 「ある管理者の判断」
第 3 日 (火)	<u>講義・MDP</u> 「管理概論③」 (部下の育成・ 人間関係・労使関係)	<u>MDP</u> 「ある管理者の判断」	<u>小グループ討議</u> 判断ケース 「管理者の対応のあり方」
第 4 日 (水)	<u>講義・ケース検討</u> 「管理者のもつべき徳性」 <u>判断ケース</u> 「管理者の対応のあり方」①	<u>判断ケース</u> 「管理者の対応のあり方」② <u>ケーススタディー</u> 倒産ケース <u>講義</u> 「管理者の能力向上法」	<u>論文作成</u> 「わが社の経営の基本課題 と解決方向について」 <u>目標設定</u> 「一流管理職に向けた 3 ヶ月後のありたい姿」
第 5 日 (木)	<u>論文発表</u> 質疑・コメント <u>終講式</u> 終了スピーチ・終了講義	昼食後解散	

(注－１) プログラムの一部を変更する場合がありますので、ご了承下さい。

合宿研修後 3 ヶ月間	<u>コーチングセッション</u> 合宿研修で設定した「3 ヶ月後のありたい姿」をテーマに、月 2 回、3 ヶ月間にわたりコー チングセッション（1 回 60 分）を行い、目標達成や行動の習慣化のためのフォローアップ を行います。 セッションは原則、電話で行います。(マイク付きイヤホンを提供・通信費は弊社負担) セッション時以外でも、コーチングのテーマに関してはメールによる相談対応を行います。
----------------	---

(注－２) セッションの日時は、合宿研修終了後に受講生本人（または人事ご担当者）と調整の上、
 6 回分を予め決めます。(予定変更の相談には応じます。)

第19回 課長級管理職錬成講座実施要領

(一流管理職錬成講座より通算 41 回目、初級管理者錬成講座より通算 31 回目)

日 時 2018年6月17日(日)～6月21日(木) ※合宿研修

場 所 山形県上山市 蔵王坊平高原 ライザ・ウッディロッジ

- 交 通 ① 到着の日は、東北・山形新幹線かみのやま温泉駅にバスを出します。
東京発 8:56 → かみのやま温泉着 11:28 分の東北・山形
新幹線「つばさ129号」をご利用下さい。
- ② 現地直行の方は、12:00 までに「ライザ・ウッディロッジ」に御集合下さい(山形空港
より車で1時間20分、かみのやま温泉駅より車で30分位です)。
(ダイヤ変更の可能性もありますので上記詳細は、「事前留意事項」で御案内します。)

- 参加対象 a 「若手リーダー錬成講座」既修者または「思考力錬成通信講座」を修了した方
b 年齢45歳以下の基幹社員(35歳前後が最も適当)
c 将来を期待される課長、課長候補者、又は、それに準ずる者
d a項は未了またはb項で年齢超過であっても、当方が了解した場合は受講できます。

定 員 25人

参 加 料 270,000 円(消費税別)
※5日間の合宿研修および3ヵ月間のコーチングセッション、資料代、宿泊費等含む

参加手続 参加申込書を弊社宛に e-mail または郵送にて送付していただきます。
原則として、申込順としますが、申込者が適当でないと思われる時は、派遣責任者に連絡の上、変更をお願いすることがあります。

参加迄の手順

1. 申込をいただきますと、当方より会社および本人に受付の連絡をすると共に「事前留意事項」、課題図書『企業および企業人(七訂版)』、参考図書『管理職要覧(三訂版)』、MDP等事前課題をお送りします。
2. 上記課題に取り組むためにも1か月は準備が必要ですので、
申込確定締切り：4月末日(参加者確定のこと)
と致します。

終了時間について

以下の新幹線に間に合うように終了します。

東京・山形新幹線 つばさ144号(かみのやま温泉発14:13→東京着16:48)に間に合うようバスを出します。

(ダイヤ変更の可能性もありますので上記詳細は、「事前留意事項」で御案内します。)

以上

西暦 年 月 日

課長級管理職錬成講座 受講申込書

受講要領了承の上、課長級管理職錬成講座を受講致したく申し込みます。

会社	社名及び代表者名	
	住所・電話番号	〒 TEL () —
連絡責任者	所属部署・電話番号	TEL () —
	役職	
	ふりがな 氏名	
	e-mail・address	
受講者概要	受講者人数	_____人
	受講者の基本属性	記入例：課長相当資格昇格者
	受講させる目的	

※上記内容を e-mail にて info@nihon-keieikaihatsu.co.jp 宛にお送り頂いても結構です。

※上記申込とは別に以下の事項を記載した受講者リストを e-mail にてお送り下さい。

- ①受講者氏名、②ふりがな、③e-mail・address、④生年月日、⑤入社年月日、
⑥所属部署、⑦役職、⑧本人連絡先（携帯電話番号）、⑨出身大学および専攻